



① 目指す学校

【目指す学校像】

- 笑顔あふれる・元気あふれる・愛情あふれる学校
- 子供が達成感・充実感を味わい、子供の笑顔があふれ、安全・安心で、学校生活を送れる学校
 - 保護者・地域社会と連携し、子供の元気があふれ、明日も行きたいと思える学校
 - 教育公務員の自覚があり、子供への愛情にあふれ、信頼される教職員が生き生き働く学校

- ★ 子供たちに深い愛情をもって接し、笑顔・元気あふれる児童を育てる。また、子供たちの健やかな成長を願い、保護者・地域の方と共に、教職員が一丸となって教育活動を進める。
- ☆ 小中一貫教育を充実させ、地域に愛される学校・地域を愛する子供・母校を愛する子供を育成する。
- ☆ 組織体制で「いじめ対応」を行い、子供の安全・安心を確保し、明日、学校に行きたいと思える学校づくり。

【教育目標 → 目指す児童像】 ※ ◎ 重点目標

- じょうぶな子 ⇒ 自らの体力を高め、健康で安全な生活を送ることができる児童
- ◎ よく考える子 ⇒ 基礎的・基本的な学力を確実に身に付け、自ら学び考えることのできる児童
- なかよくする子 ⇒ 社会規範を守り、望ましい人間関係を築くことができる児童
- がんばる子 ⇒ 自分の存在価値を認め、自分の夢に向かって頑張ることができる児童

TripleA+1(トリプルAプラスワン)の実施

- | | |
|----------|--------------------------|
| A あいさつ | 人と人とのつながりが大切。まずは、あいさつから。 |
| A あいがとう | 感謝する心を忘れない。それは、親にも友達にも。 |
| A あせをかく | 何事にも力を抜かずに頑張れる。遊びも学びも。 |
| +A あかるい心 | いつも前向きな明るい心をもって、みんなに優しく。 |

【学校経営の基本理念】

- 地域運営学校(コミュニティ・スクール)として、学校・保護者・地域社会が三位一体となった教育活動を展開し、子供に『生きる力』を育成する。
- 義務教育9年間で視野に入れて、知・徳・体の基礎的基本的な指導を行い、地域・社会に貢献できる人間としての基礎を培う。

【目指す教職員像】

- 子供に深い愛情を注ぎ、厳しさと温かさを持ち、見守り・認め・伸ばす指導ができる教職員
- 笑顔・元気あふれる児童を育成するために、自らも笑顔で心身ともに常に健康な教職員
- 自己の資質・能力を高めるために、研修と修養に励み、深みをもった教育ができる教職員

トリプルの実施

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| Search 見守る | 心のアンテナを常に高く、子どもたちの心の変化に気付く。 |
| Speed 素早く(啐啄同時) | 何か変だなと感じたら、すぐに対応する。 |
| Spirit 教育熱 | 愛情と教育者としての誇りをもって、指導・支援をする。 |

② 中期的な目標と方策

- 子供に『生きる力』である「確かな学力、豊かな人間性、健やかな心と体」を育む教育活動が展開される学校づくりを推進する。
- 子供に普遍的な道徳心や規範意識を身に付けさせ、社会や時代の変化や困難にも主体的に対応できる能力を育成する。そのために、自ら考え伝え合う教育活動が行われる学校づくりを推進する。
- ICT 機器(1人1学習用端末等)の活用・プログラミング教育の推進を行うことにより、今日の情報社会の時代に対応できる児童を育成する。そのための教員のスキルアップ・環境整備を重点的に行う。
- 学校組織体制(いじめ対策委員会等)・施設設備等の教育環境の点検・整備・改善に努め、いじめ、不登校、発達課題、進学・進級、学力不振等、子供や保護者の相談体制を充実させ、安全安心で信頼される学校づくりを行う。
- 地域運営協議会と協力して、地域・保護者と共に教育活動を行うことによって、愛校心・地域愛を育む。
- 松が谷中学校・松が谷小学校とともに小中一貫教育を推進していく。

③ 令和6年度、力を入れる学校づくり

- ★ なかよし班を中心とする家族のような温かな異年齢集団の中で、心豊かに笑顔あふれる活力のある学校づくり
- ☆ 令和7年度(2025年度)の創立50周年に向けて、松が谷中学校・松が谷小学校とも連携し、地域とゆったり・温かくつながれる学校(3校創立50周年)づくり

④ 令和6年度の取り組み目標と方策

1 『健やかな心と体』を育むために ☆ じょうぶな子		A:よく達成できた B:概ね達成できた C:もう少し D:達成できなかった		
目 標	具体的な取り組み目標・方策	自己評価・学校評価	達成度	今後の対策・展望
○ 体の健康の増進	★ 体力を増強する。 ・ 全校持久走(11月) ・ 短縄チャレンジ(3学期) ★ 食生活の改善・健康な体を育む食育 ・ 給食&図書コラボ ・ ウェルカム給食(毎学期) ・ 野菜の皮むき体験等 (トウモロコシ・ソラマメ・グリンピース等) ・ 食育の授業(学級活動)	☆11月に全校で持久走を2週間、3学期に短縄チャレンジ(3週間)を「頑張りカード」を用いて行った。短縄チャレンジでは、昼休みに保健体育委員会と教員が検定を行い、運動不足になりがちな冬の期間の体力・健康増進を自主的に行った。 ☆低学年を中心に野菜の皮むき体験を行い、「食」に対する意識付けを行った。 ☆児童アンケートで「給食は、自分の食べられる量を残さず食べています。」の項目で87.5%の肯定的な回答が得られた。	A	☆子供たちの健康増進のためには、「運動」・「食」は、とても大切な要素となる。これからも、継続的にこれらの取り組みを行っていく。
○ 心の健康の増進	★ 悩みの共有(一人で抱え込まない) ・ SCによる4・5・6年生全児童の面談 ・ 児童実態アンケート調査(毎学期1回) ★ 個に応じた心の安定 ◇ 特別支援教室(つばめ)拠点校 ・ つばめ教室での指導を充実させ、通常の学級での学校生活に活かす。 ・ 年度始めの保護者面談 (つばめ学級保護者面談以外に、管理職・養護教諭・学級担任による)	☆SCによる5・6年生の面談を行った。これらの情報・児童実態アンケート調査の情報を全職員で共有し、個々の対応に役立てた。 ☆必要に応じて、週に1回程度、対応が必要な児童に対して、ケース会議を開催した。 SC・SSW・適応指導教室等と連携を取りながら、特に個々の適性就学について検討した。	B	☆児童一人一人が抱える課題は様々であり、学校だけの力では、なかなか解決できないところもある。各種の関係諸機関と連携を取りながら、丁寧な指導・支援を行っていく。
2 『確かな学力』を身に付けさせるために ☆ よく考える子				
○言語活動を中心に、考え表現できる子の育成	★ 校内研究の活性 ・ 校内研究を「思考・判断・表現の力を高める指導 ～どの子も考え表現できる活動を通して～」の2年目として、研究領域を全教科に広げる。年間2本の研究授業を行う。 ★ 言語活動の充実(ことば朝会) ・ 俳句・短歌・川柳作りの推進 日本古来の言葉の文化に触れ楽しむ。	☆9月10日(4年生)10月24日(3年生)に研究授業を年間2回行った。特に3年生の授業では、本校の特色でもある「俳句づくり」に焦点を当て、児童の表現活動を高めた。俳句に対する子供たちの興味が格段と上がった。 ☆年間10回の「ことば朝会」を行い、毎回「ことばLAND」を発行した。2月には、「お～いお茶新俳句大賞」に全校児童で応募し、言語活動の推進を図った。	A	☆来年度は、もう一歩進んで、他の教科へ広げていくことを確認した。 ☆鹿島小学校の特色の一つである「俳句・短歌・川柳作り」の取り組みを様々な場面で活用していく。創立50周年も意識する。

○ 外国語教育の推進	★ 外国語に慣れ親しむ ・ 外国の子供たちとのオンライン交流（4・5年生） ・ イングリッシュデイ（学期に1回）	☆6月25日・2月18日にイングリッシュデイを開催した。 4年生がオンライン交流で、2月21日台湾の懷生小学校の子供たちと交流した。	C	☆「外国語活動・外国語教育」を継続。特に低学年の裁量の時間を外国語活動に充てる。
○ 一人一人に応じた児童の学力向上	★ ICT機器の有効活用 ・ クロームブック・ミライシードの活用 ★ 小中一貫教育を使って ・ 八王子市が小学4年生から中学まで継続して行う学力調査の結果を踏まえ、一人一人の課題に対応する。 ・ 学力定着プロジェクトチーム設立（学力定着度調査（小学4年～中学3年）の分析） ・ はちおうじっ子ミニマムの活用 ★ 補習授業の活用 ・ 毎学期末3日間の補習。 ・ 夏季休業中3日間、算数科補習授業。	☆6月26日・10月9日・1月15日に計画通り、小中一貫教育推進のために3校が集まった。各種分科会に分かれて、小中の情報交換を行い、1年間を振り返り、学力定着の課題について考えた。小中の学力調査の分析を行った。 ☆夏季の算数科補習授業を計画通り実施した。	B	☆3校の学力定着プロジェクトチームで分析した定着度調査の結果を踏まえ、小中一貫した指導を検討する。また、はちおうじっ子ミニマムの有効活用を行う。

3 『豊かな人間性』を育むために

☆ なかよくする子

○ コミュニケーション能力の向上（あいさつから）	★ TripleA+1（トリプルAプラスワン）の実施 ・ 【あいさつ】【ありがとう】【あせをかく】【あかるい心】を合言葉に「気持ちの良い挨拶。」「いつも感謝の心を忘れない。」「何事にも全力になる」「前向きな優しい心をもつ」を児童に意識付ける。 ・ 児童委員会・地域（青少対・年2回）のあいさつ運動を充実させ、保護者・地域に挨拶の輪を広げる。 ★ 地域への参加 ・ 青少対あいさつ運動（年2回） ・ 令和7年度の50周年記念に向けて、地域とのつながりを強化する。	☆TripleA+1（トリプルAプラスワン）を掲げ2年目となるが、保護者アンケートで、「この取り組みを知っているか」の項目で、年間平均97.3%（昨年度から3.6%UP）の肯定的な回答が得られた。児童も年間平均92.8%が自分からあいさつをしていると回答した。 ☆11月5日・8日に青少対あいさつ運動を実施した。	B	☆あいさつは、全てにおいての基本となる。大人（教員・親・地域）があいさつすることで、子供たちに定着する。教職員が模範となり、ともかく毎日、継続して、あいさつを行う。 ☆来年度の創立50周年記念に向けて、地域とのつながりを更に強化する。
○ いじめ防止強化と的確な対応	★ いじめの早期発見と継続的な見守り ・ いじめの未然防止・不登校児童・登校渋りの児童へ焦点を当て、早期・適切な対応を行い、児童一人一人の心のケアに努める。 ・ 毎週（火曜日）授業時間1コマ（45分間）「いじめ対策委員会」を開催。（必要に応じて随時開催） ★ 子どもへの働きかけ ・ 心のSOSを発信・いじめ防止の授業 ・ 「いのちの大切さを共に考える日」（6月3日） ・ 毎学期、「その子、どうしてる？ つながってる？」を学級担任、「この木何の木気になる木」を専科教員が記入し、児童の実態把握・対処を確認する。	☆毎週火曜日に「いじめ対策委員会」に行き、全職員の共通理解を図った。「いじめ」については、早期発見・早期対応を行った。事後についても継続的に丁寧な対応を心掛けた。保護者アンケートで、「いじめ防止」の項目で、年間平均89.7%（昨年度から1.8%UP）の肯定的な回答が得られた。 ☆特に不登校・登校渋りの児童に対しては、ケース会議を開き、その子にあった支援を考え、関係諸機関等へもつないでいった。	B	☆これからも「いじめの未然防止」・「いじめの早期発見」と「事後対応」・「継続的な見守り」を丁寧に行っていく。「いじめ」に対して、管理職を含め学校組織全体で対応する。 ☆不登校・登校渋りの児童に対しては、より一層丁寧な対応ができるように、全職員で共通理解を図る。

○ 保幼小連携を推進する。(小1ギャップの解消)	★保幼小連携の充実 ◇ 大塚保育園 ・ 教職員連携交流会(8月) ・ 合同避難訓練(12月) ・ 園児との交流(3学期)	☆8月29日保育園訪問を行い施設見学・保育内容の説明を受けた。翌日30日オンラインにて、保育園と小学校の情報交換・交流を行った。 12月4日鹿島小学校の校庭に園児が避難する合同避難訓練を実施した。 1月31日、園児が小学校に訪問し、鹿島小学校を見学した。	B	☆大塚保育園だけでなく、学区内にある聖徳多摩中央幼稚園とも保幼小連携を検討していく。
○ 小中一貫教育を充実する。	★ 小中一貫教育の推進 ・ 小中一貫3校(松が谷中・松が谷小・鹿島小)の交流活動の計画、実施、評価、改善を行う。 ・ 気持ちのよい受け答えをしよう。(子供たちがいろいろな物事に「反応」できる。) ・ 「はちおうじっ子サミット」(小中一貫教育)で、いじめ防止を考える。 ・ 3校共通の人権教育の取り組みとして、12月の「ことば朝会」に人権標語を作る。	☆7月23日に第3回の「はじおうじっ子サミット」が開催された。本校でも代表児童が松が谷中・松が谷小の代表とともに参加した。そこで話されたことをもとに、既存の「あいさつビンゴ」を改良して実施した。 ☆12月のことば朝会を人権標語の朝会として「なかよし班」の発表として、取り組んだ。	B	☆7月30日に第4回「はじおうじっ子サミット」が開催予定されている。年度当初から、「いじめ防止」の取り組みを小中3校の子供たちを中心に考える。本校では、児童会が中心となる。 ☆人権標語の取り組みを継続する。

4 子供たちが夢をもてる・その夢を応援できる 『安全安心な学校』づくりのために

☆ がんばる子

○ 思いやりの心の育成(なかよし班を中心に)	★ 異年齢集団(なかよし班)の更なる充実 ・ 全校遠足(4月30日) ・ サツマイモ栽培・収穫祭(10月19日) ・ ドッジボール大会 ・ なかよし班遊び(朝の集会) ★ 作品展(11月15日(金)16火(土))で、子供たちの創造性を育む。 ★ 地域への参加 ・ 地域クリーン活動(年3回・青少対連携) ・ 地域音楽祭への参加(会場:松が谷小) ★ 読書活動の充実 ・ 保護者による読み聞かせ活動	☆本校最大の特徴である異年齢集団(なかよし班)の活動は、6年生が中心となり、子供たち同士のつながりを強める大きな役割を果たした。今年度は、なかよし班活動の大きなイベントである「収穫祭」を保護者参観とした。 保護者アンケートでも、学校が力を入れている項目で、年間100%知っているという回答があった。 ☆地域クリーン活動が、7月13日・11月10日・3月2日に予定通り実施された。3月には、20人近い児童の参加があった。 地域音楽祭が11月23日に松が谷小学校で行われ、5年生が合唱・合奏で参加した。 ☆お忙しい中、読み聞かせボランティアのご協力、本当にありがとうございます。	A	☆来年度は、創立50周年を迎える。この「なかよし班」の活動も大きく活用して、愛校心・地域愛が高められるようにする。この活動は、これからも長く継続できるように、大いに推進していきたい。 ☆地域小中3校の同時創立50周年を記念して、地域活動の活性化を行う。
------------------------	--	---	---	---

○ 安全安心の生活を送るための取り組み	★ 安全・安心な教育環境づくり ・ セーフティ教室 (交通事故、連れ去り防止)、 ・ 薬物乱用防止教室 ・ 交通安全教室、自転車安全教室 ・ 情報モラル (インターネット・携帯・SNS等)	☆6月7日にセーフティ教室・薬物乱用防止教室を行った。 1・3・5年生が交通安全教室・自転車安全教室を行った。 3学期には、6年生が外部とオンラインで「ラインについて」の学習を行い、情報管理・情報モラルについて、学んだ。	B	☆自分の身は、自分で守れるように外部の協力を得ながら、正確な知識を身に付けさせる。そして、この情報化社会の被害者、あるいは加害者にならないようにする。
○ 学校情報の充実発信	★素早く・正確な情報発信 ・ 年間2回の学校評価(7月、12月) ・ 学校・学年だより等の発信の充実 ・ 学校HPの充実 閲覧数:昨年度50000越え、今年度は、5%UPを目指す。 学年だよりを掲載する。	☆学校HPに学年だよりの項目を新設した。 保護者アンケート、情報発信の項目で、年間98.7%の肯定的な回答が得られた。閲覧数も3/14現在51878と昨年度の3.8%UPで年度末には、目標の5%UPに到達する。	A	☆引き続き、保護者・地域の皆様により良い情報発信を継続する。

